

シラバス(授業内容)

インナービューティ科 2年

エステティシャン専攻

シラバス(授業内容)

科目名		ITコミュニケーション			クラス名	P2A	
1年単位		前期	15 時間	後期	30 時間	1年合計単位	45 時間
2年単位		前期	15 時間	後期	-	2年合計単位	15 時間
担当講師		田中 みゆき					
		実務経験	-	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要		現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標		図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		Office2016(実教出版)					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	お礼状の作成		Word お礼状の作成			
第2回	2	画像の編集と加工		Word Officeのフォトレタッチ機能			
第3回	3	図の挿入と図形の活用		Word 図の挿入と図形の活用			
第4回	4	PowerPoint復習		PowerPoint復習			
第5回	5	ノートの活用と印刷		PowerPoint ノートの活用と印刷			
第6回	6	プレゼン作成		PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第7回	7	プレゼン作成		PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第8回	8	プレゼン作成		PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第9回	9	作表とワークシートの操作		Excel オートフィルの復習、ワークシートの操作			
第10回	10	予約表の作成		Excel 予約表の作成			
第11回	11	グラフ機能		Excel グラフ機能			
第12回	12	データベース機能		Excel データベース機能			
第13回	13	試験対策		Excel 試験対策			
第14回	14	期末試験		Excel 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説		期末試験の解説と前期の振り返り			
初回持ち物		教科書、クリアファイル、筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		フレッシュヤーズスキル			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師		宮崎 愛子					
		実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要		1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標		・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	オリエンテーション	授業の目的と狙い・講師紹介と学生自己紹介				
第2回	2	働くことの意味について考える	学ぶこと・働くことの意義や役割を考えよう				
第3回	3	ストレスコントロール術	そもそもストレスとは？脳とストレスの関係				
第4回	4		ストレスの受け取り方・受け流し方を知ろう				
第5回	5	アングーマネジメント	「怒り」の感情の正体とは				
第6回	6		怒り感情のコントロール方法(自己理解)				
第7回	7		怒り感情との向き合い方・対処法(他者理解)				
第8回	8		クレーム対応／クレームの考え方				
第9回	9	Highly Sensitive Personについて	Highly Sensitive Personについて(HSP・HSS診断テスト)				
第10回	10		HSS・HSPとの付き合い方、接し方				
第11回	11	キャリアデザイン	未来の自分を想像する／中長期的な目標設定				
第12回	12		PREP法で伝えよう				
第13回	13		個々の発表				
第14回	14	試験	期末試験				
第15回	15	試験解説・まとめ	期末試験解説				
初回持ち物		なし					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		フレッシューズスキル			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師		宮崎 愛子					
		実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要		1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標		・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書							
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	できるビジネスパーソン	マナーを身につけ、今から実践する意味を考えよう				
第2回	2		上品さとは？好感を持たれる”見た目・ふるまい・話し方”①				
第3回	3		上品さとは？好感を持たれる”見た目・ふるまい・話し方”②				
第4回	4	傾聴力／雑談力	新社会人に必要なのは傾聴力「聴く力の重要性」				
第5回	5		雑談力を鍛えよう「人間関係がよくなる雑談の心構え」				
第6回	6		傾聴力と雑談力を伸ばそう				
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション				
第8回	8		アサーティブに表現する				
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①				
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②				
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう				
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう				
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に”ありがとう”を伝える				
第14回	14	試験(対面)	後期 期末試験				
第15回	15	試験解説・まとめ(対面)	試験解説・まとめ				
初回持ち物		なし					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		就職ガイド			クラス名	P2A	
1年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位		前期	15 時間	後期	-	2年合計単位	15 時間
担当講師		安藤 恵					
		実務経験	—	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要		就職活動に必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。 また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、卒業後に備えます。					
到達目標		就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	面接練習	就職活動進捗確認・面接練習				
第2回	2		面接練習				
第3回	3		面接練習				
第4回	4	一般常識	SPI・GAB対策				
第5回	5		適性検査・一般常識対策				
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッション対策				
第7回	7		グループディスカッション練習				
第8回	8	社会人とは	新社会人に求められるもの				
第9回	9	ビジネスマナー	ビジネスマナーがなぜ必要か				
第10回	10	コミュニケーション	コミュニケーションの種類～ノンバーバル～				
第11回	11		コミュニケーションの種類～バーバル～				
第12回	12	サービス接遇	サービスマナー・慣用句				
第13回	13	働くことの意義	〇〇〇で働くことの意義				
第14回	14	期末テスト	期末テスト				
第15回	15	モチベーションコントロール	モチベーションアップから得られるもの				
初回持ち物		筆記用具・就職ファイル					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		イベントプロモーション			クラス名	P2A	
1年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師		担任					
		実務経験	-	-			
目的及び概要		学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標		就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－3 4/12(水)	各目標決め	クラス目標／個人目標／リーダー・サブ決め／SAM選出				
第2回		コミュニケーションスキル①	自分・みんなの印象				
第3回		コミュニケーションスキル②	マシュマロチャレンジ				
第4回	4－8 9/8(金)	スポーツ大会	出場競技決め				
第5回			ルール説明・確認				
第6回		学園祭① (1・2年生合同)	学園祭:出店概要、希望使用教室について				
第7回			各担当、内容決め				
第8回			貸出備品リスト作成／購入予定リスト作成 アンケート				
第9回	9－11 9/11(月)	学園祭②	学園祭準備				
第10回			接客マニュアル(流れ)、技術マニュアル、メニュー				
第11回			作成物(看板、ビビットビューアー、チラシ、予約表、予約カード等)				
第12回	12－15	スポーツ大会	スポーツ大会本番				
第13回							
第14回							
第15回							
初回持ち物		筆記用具、AIEノート					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲			○	実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験			平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		イベントプロモーション			クラス名	P2A	
1年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師		担任					
		実務経験	-	-			
目的及び概要		学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標		就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－3 11/1(水)	学園祭準備		設営、リハーサル			
第2回							
第3回							
第4回	4－6 11/2(木)	学園祭①		学園祭当日			
第5回							
第6回							
第7回	7－9 11/3(金)	学園祭②		学園祭当日			
第8回							
第9回							
第10回	10－12 2/27(火)	FUS準備		FUSリハーサル			
第11回							
第12回							
第13回	13－15 2/28(水)	FUS		FUS本番			
第14回							
第15回							
初回持ち物		筆記用具、AIEノート					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲			○	実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		皮膚科学			クラス名	P2A	
1年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験をjてエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		1年でやった内容に加え、トラブル肌についての知識を高め、AEAに出る範囲の問題も習得すること					
到達目標		お客様へ説明できるような肌への知識を深め、検定の問題も合格点を目指す					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	1年の復習とAEAについて	1年の流れの説明と復習				
第2回	2	皮膚の構造とトラブル肌	Chapter5の導入・トラブル肌とは				
第3回	3	発疹の種類	湿疹・発疹の種類				
第4回	4	ニキビ	ニキビの正式名称と状態				
第5回	5	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題				
第6回	6	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題				
第7回	7	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題				
第8回	8	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題				
第9回	9	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題				
第10回	10	敏感肌	敏感肌の理由と対策				
第11回	11	接触皮膚炎	皮膚炎について				
第12回	12	アレルギー性疾患	アレルギーの種類と対策				
第13回	13	テストの話	テスト対策				
第14回	14	期末テスト	期末テスト				
第15回	15	返却	解説と後期の説明				
初回持ち物		皮膚科学の教科書とノート					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		皮膚科学			クラス名	P2A	
1年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験をjてエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		1年でやった内容に加え、トラブル肌についての知識を高め、AEAに出る範囲の問題も習得すること					
到達目標		お客様へ説明できるような肌への知識を深め、検定の問題も合格点を目指す					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	1年の復習とAEAについて	1年の流れの説明と復習				
第2回	2	皮膚の構造とトラブル肌	Chapter5の導入・トラブル肌とは				
第3回	3	発疹の種類	湿疹・発疹の種類				
第4回	4	ニキビ	ニキビの正式名称と状態				
第5回	5	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題				
第6回	6	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題				
第7回	7	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題				
第8回	8	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題				
第9回	9	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題				
第10回	10	敏感肌	敏感肌の理由と対策				
第11回	11	接触皮膚炎	皮膚炎について				
第12回	12	アレルギー性疾患	アレルギーの種類と対策				
第13回	13	テストの話	テスト対策				
第14回	14	期末テスト	期末テスト				
第15回	15	返却	解説と後期の説明				
初回持ち物		皮膚科学の教科書とノート					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		生理学			クラス名	P2A	
1年単位		前期	15 時間	後期	30 時間	1年合計単位	45 時間
2年単位		前期	30 時間	後期	15 時間	2年合計単位	45 時間
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験をjてエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		各臓器を知り、体の中の仕組みを知ること					
到達目標		お客様に体の構造の説明をできるようになることと、AEA上級試験に合格する					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		解剖学					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1・2	Chapter1		導入と人体の成り立ち			
第2回	3・4	Chapter2		骨格系			
第3回	5・6	Chapter3		筋系			
第4回	7・8	Chapter4		消化器系			
第5回	9・10	Chapter5		呼吸器系			
第6回	11・12	Chapter6 & 7		泌尿器系・内分泌			
第7回	13・14	Chapter8 & 9		生殖器・循環器			
第8回	15・16	Chapter10		血液			
第9回	17・28	Chapter11		感覚器			
第10回	29・20	Chapter12		神経系			
第11回	21・22	試験対策		AEA対策			
第12回	23・24	試験対策		AEA対策			
第13回	25・26	試験対策		AEA対策			
第14回	27・28	テスト		期末試験			
第15回	29・30	返却		まとめ			
初回持ち物		解剖学の教科書とノートかルーズリーフ(栄養学の裏側から使用してもよい)					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		生理学			クラス名	P2A	
1年単位		前期	15 時間	後期	30 時間	1年合計単位	45 時間
2年単位		前期	30 時間	後期	15 時間	2年合計単位	45 時間
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験をjてエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		各臓器を知り、体の中の仕組みを知ること					
到達目標		お客様に体の構造の説明をできるようになることと、AEA上級試験に合格する					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		解剖学					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	運動生理学		Chapter5 運動の必要性			
第2回	2	運動生理学		Chapter6 筋肉・呼吸器・運動の復習			
第3回	3	運動生理学		Chapter7～9 運動のプログラムと実際			
第4回	4	試験対策		AEA対策(運動生理学範囲)			
第5回	5	心身生理学		Chapter13 脳の構造			
第6回	6	Chapter14		ホメオスタシス			
第7回	7	Chapter15		免疫			
第8回	8	Chapter16		ストレス			
第9回	9	Chapter17		心と肥満			
第10回	10	Chapter18		スキントッチの効果			
第11回	11	心身生理学まとめ		小問題とAEA問題集導入			
第12回	12	試験対策		AEA対策			
第13回	13	試験対策		AEA対策			
第14回	14	テスト		期末試験			
第15回	15	返却		まとめ			
初回持ち物		運動生理学の教科書とノートかルーズリーフ(前期から使用している続き)					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		化粧品学			クラス名	P2A	
1年単位		前期	15 時間	後期	-	1年合計単位	15 時間
2年単位		前期	15 時間	後期	-	2年合計単位	15 時間
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験をj経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		1年生前期の内容に加えて、ボディ用全般の化粧品や、成分についての知識を深める。また、AEA用の問題集の対策も行う。					
到達目標		お客様に化粧品の説明をできるようになることと、AEA上級試験に合格する					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	化粧品学とは	昨年の復習とボディ用品				
第2回	2	ボディ用品①	浴用料、ボディスキンケア				
第3回	3	ボディ用品②	スリミング剤、紫外線ケア				
第4回	4	ボディ用品③	制汗・防臭・脱毛剤・まとめ				
第5回	5	香料①	香りを必要とするか				
第6回	6	香料②	分類とその種類				
第7回	7	AEA問題集	1年の範囲(法律やルール)				
第8回	8	AEA問題集	基礎化粧品の問題				
第9回	9	AEA問題集	テスト対策				
第10回	10	化粧品の原料とは	化粧品の成分の分類				
第11回	11	油性原料①	油性原料				
第12回	12	油性原料②	油性原料				
第13回	13	水性原料	期末テスト対策				
第14回	14	期末テスト	期末テスト				
第15回	15	返却	保湿剤について				
初回持ち物		1年生の時のノート、教科書(化粧品学)					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		栄養学			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	15 時間	1年合計単位	15 時間
2年単位		前期	15 時間	後期	-	2年合計単位	15 時間
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		栄養学を理解し食生活を見直したり、お客様へのアドバイスができるようになることが目的です。サプリメントはあくまで栄養補助足品なので、それに頼らず生活習慣の改善ができるような知識を身につけ、AEAの検定対策もします。					
到達目標		AEA対策と、自分自身の食生活の見直し、お客様へ適切なアドバイスができるようになることが目標となります。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書							
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	Capter3	サプリメントへの知識				
第2回	2	Capter3	サプリ要素の成分				
第3回	3	Capter3	添加物と健康				
第4回	4	Capter3	アレルギーと保存料				
第5回	5	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説				
第6回	6	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説				
第7回	7	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説				
第8回	8	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説				
第9回	9	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説				
第10回	10	栄養学まとめ	ケーススタディ①				
第11回	11	栄養学まとめ	ケーススタディ②				
第12回	12	栄養学まとめ	ケーススタディ③				
第13回	13	テスト対策	AEA範囲				
第14回	14	期末試験	期末テスト				
第15回	15	解説とまとめ	栄養学のまとめ				
初回持ち物		栄養学の教科書・ノート					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		サロンマネジメント&法規			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	15 時間	後期	-	2年合計単位	15 時間
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		会社の経営と接客方針に対して学び、法律を理解すること					
到達目標		社会の常識と法律を学ぶことで、接客業で生かせるようにすることと、検定も合格すること					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		サロンマネジメント&法規					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	サロンの経営とは		業界の役割			
第2回	2	やりがいのある仕事とは		美容の業務・内容			
第3回	3	サロン業務		クレーム対応とサービス業			
第4回	4	能力評価		経営者と雇用される側			
第5回	5	業界の成長		業界の発展・問題集			
第6回	6	法律関連の話		関連法規とは何か			
第7回	7	施術に関する法律		施術・化粧品・食品に関する法律			
第8回	8	契約と民法		消費者基本法・契約法			
第9回	9	特定商取引とは		特定商取引とは			
第10回	10	分割払いとクレジット		分割について・支払方法・キャッシュレス			
第11回	11	個人情報保護法		会社の守るべきもの&個人のSNS運用			
第12回	12	自主基準とは		国家資格でない法律の基準について			
第13回	13	問題集		テスト対策			
第14回	14	テスト		期末テスト			
第15回	15	返却		解説とまとめ			
初回持ち物		サロンマネジメント&法規の教科書					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		電気機器学&美容脱毛学			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	15 時間	後期	-	2年合計単位	15 時間
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		電気に関して理解することで、美容機械に対する知識を深める。					
到達目標		機械の使用の原理を理解し、検定試験の問題を習得すること					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		電気学と脱毛学					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	電気学とは	電気機器学とは				
第2回	2	エステティック機器	施術用機器				
第3回	3	電気の原理	電気の基礎知識				
第4回	4	身体と電気の関係	エステ利用の電気について				
第5回	5	問題集	センター試験の問題				
第6回	6	脱毛学について	脱毛の歴史				
第7回	7	脱毛学概論	脱毛法の分類				
第8回	8	毛髪概論	毛とホルモン				
第9回	9	病気と脱毛	血液感染など				
第10回	10	衛生管理	衛生管理・滅菌・消毒				
第11回	11	カウンセリング	カウンセリングの盲点と要点				
第12回	12	ワックス脱毛	施術方法の分類				
第13回	13	問題集	センター試験の問題				
第14回	14	テスト	期末テスト				
第15回	15	返却	解説				
初回持ち物		電気機器学の教科書					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		エステ資格取得対策			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	15 時間	1年合計単位	15 時間
2年単位		前期	-	後期	15 時間	2年合計単位	15 時間
担当講師		大内 博子					
		実務経験	有	2年間の集大成となる資格取得が出来るよう、今までの指導経験を活かし全員合格が出来る様指導致します。			
目的及び概要		AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格に向けて、毎時間筆記試験を実施致します。問題数が多いため、間違った問題に対し解説を作り覚えます。また、授業内で模擬試験を行う事で自分の苦手な分野の理解・把握が出来るので自身で試験本番までに対策をします。事前勉強が必須になります。必ず全員で合格出来るよう頑張りましょう！					
到達目標		AEA上級認定エステティシャン筆記試験、全員で合格					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		AEAエステティシャン認定試験 例題集・各テーマの教科書					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	フェイシャル実技理論	100問模試 間違えた問題に対し教科書で調べ解説を作成 次回授業前までにノート提出厳守				
第2回	2	ボディ実技理論・美容脱毛学					
第3回	3	皮膚科学					
第4回	4	解剖生理学					
第5回	5	心身/カウンセリング/ サロンマネジメント					
第6回	6	東洋・西洋/衛生・消毒/ サロンでの救急					
第7回	7	運動/電気・機器学/関連法規					
第8回	8	エステティック概論 栄養学					
第9回	9	化粧品学					
第10回	10	模擬試験	模擬試験2回実施 合格点90点 不合格者は、上記同様				
第11回	11						
第12回	12	模擬試験	模擬試験2回実施 合格点90点 不合格者は、上記同様				
第13回	13						
第14回	14	模擬試験	模擬試験 合格点95点 不合格者は、合格するまで再試験実施				
第15回	15						
初回持ち物		AEAエステティシャン認定試験 例題集、各テーマの教科書、 資格対策専用ノート(ルーズリーフ不可)、筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		販売心理学			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	30 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で販売心理学を習得・その後の会社内でも通信教育を続け高い実績がある			
目的及び概要		自分が大切にしたいお客様に満足していただくということは、どういうことでしょうか。お客様の心理を学び、素敵な接客ができるようになることが目的です。					
到達目標		将来、経営者の心理も理解し、人気のある素敵なビューティーアドバイザーになる第一歩が目標となります。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書							
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1・2	導入	販売心理学とは・接客に必要なもの				
第2回	3・4	常識とは	満足と不満足・常識と非常識				
第3回	5・6	小物と心理	財布の持つ価値観と開け方				
第4回	7・8	色の歴史	色によるイメージ支配とコントロール				
第5回	9・10	季節の売り上げ	季節と限定商品				
第6回	11・12	女性脳・男性脳	女性脳と男性脳の購買意欲の違い				
第7回	13・14	経営者の考え方	求人と店のアニュアル・正社員について				
第8回	15・16	営業の基本・ディスプレイについて	儲かる店の法則とは				
第9回	17・28	説得から納得へのトーク	評判は他人目線・話し方で売り上げは変わる				
第10回	29・20	人間観察	自分をどう見せるか・見られるか				
第11回	21・22	プレゼンテーション	クロージングの仕方・コスパ				
第12回	23・24	プレゼンテーション実演	好きなものをクラスメイトに紹介する①				
第13回	25・26	プレゼンテーション実演	好きなものをクラスメイトに紹介する②				
第14回	27・28	期末試験	テスト				
第15回	29・30	解説とまとめ	返却と説明				
初回持ち物		筆記用具・ノート又はルーズリーフ					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ダイエット実習			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	15 時間	2年合計単位	15 時間
担当講師		佐々木 圭					
		実務経験	有	健康的なダイエット方法を取り入れていくダイエット実習を踏まえ、検定の応用として指導する。			
目的及び概要		エステティシャンとして、サロンにおいてダイエットや痩身のニーズは非常に多くあります。カウンセリングの際、ホームケアアドバイスの一部となる「運動」を実践形式を踏まえながら、運動の種類や内容、そしてケースヒストリーを元に運動メニューをプログラムしていけるように目指します。					
到達目標		運動プログラム作成					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書							
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	自分を知らう	現状の自身のカラダを知る				
第2回	2	トレーニング理論①	運動の種類と強度と頻度と時間				
第3回	3	トレーニング理論②	トレーニングにおける原理・原則				
第4回	4	トレーニングメニュー①	ストレッチの方法と種類と注意点				
第5回	5	トレーニングメニュー②	有酸素運動の方法と運動強度				
第6回	6	トレーニングメニュー③	無酸素運動の方法と運動強度				
第7回	7	トレーニングメニュー④	体幹トレーニング				
第8回	8	トレーニングメニュー⑤	体幹トレーニング				
第9回	9	自分を知らう②	カラダの姿勢と歪み				
第10回	10	トレーニングメニュー⑥	下肢のトレーニング				
第11回	11	トレーニングメニュー⑦	上肢のトレーニング				
第12回	12	ケースヒストリー	運動プログラム作成				
第13回	13	ケースヒストリー	運動プログラム作成				
第14回	14	グループ発表	ダイエット実践における効果・考察				
第15回	15	グループ発表	ダイエット実践における効果・考察				
初回持ち物		筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ダイエット検定対策			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	15 時間	後期	-	2年合計単位	15 時間
担当講師		佐々木 圭					
		実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元に健康的なダイエットの仕組みを伝えていく。			
目的及び概要		エステティシャンとしてダイエットの知識は非常に重要な知識となります。現在様々なダイエット法があり、ダイエット方法の変化が著しい現代であるからこそ基本的なダイエット知識を学習し、カリキュラム終了後にダイエット検定2級取得を目指します。					
到達目標		ダイエット検定2級合格					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	日本ダイエット協会趣旨・概要 ダイエット定義	日本ダイエット協会とは・ダイエットとは				
第2回	2	現代ダイエットの基礎知識	メタボリックシンドロームを防ぐダイエットの概念				
第3回	3	体脂肪の基礎知識	あぶら・脂肪細胞・体脂肪について				
第4回	4	体脂肪の基礎知識	三大・五大・六大栄養素・基礎食品群				
第5回	5	カロリーと栄養素とダイエット	カロリー基礎知識				
第6回	6	カロリーと栄養素とダイエット	基礎代謝について				
第7回	7	代謝とリバウンドの基礎知識	リバウンドの基礎				
第8回	8	代謝とリバウンドの基礎知識	インスリン・血糖値・GI値				
第9回	9	インスリンとGI値	インスリンを出さない食べ方等				
第10回	10	インスリンとGI値	ダイエットのための運動法と心拍数について				
第11回	11	運動とダイエットの方法論	運動によるダイエットについて				
第12回	12	運動とダイエットの方法論	まとめ				
第13回	13	検定対策	模擬試験				
第14回	14	期末テスト	授業内範囲				
第15回	15	期末テスト返却	フィードバック				
初回持ち物		テキスト・筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		薬膳入門		クラス名	P2A		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	15 時間	2年合計単位	15 時間
担当講師		小林 優子					
		実務経験	有	セルフケア上手になるための日常に密着した薬膳を得意とし、薬膳料理教室での経験をもとに、日々の食事と生活からできる薬膳をお伝えします。			
目的及び概要		薬膳は、カラダの中から整えて、キレイに、元気になれるもの。カラダの中からのケア、毎日の食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。そのための薬膳です。 薬膳の専門用語を極力使わずに、わかりやすく薬膳の概要を学びます。毎日の生活の中に落とし込みながら学ぶので、自分の体調や体質に合わせた食事や生活の工夫の知識が身に付きます。					
到達目標		自分の体調や体質を知る事、そしてそれに合わせた食事や生活の工夫ができる力を身につけることを目標とします。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		プリントにて配布					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	薬膳概論①	薬膳を学ぶ意味、薬膳とは何かを学びます。				
第2回	2	薬膳概論②	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法①気血水				
第3回	3	薬膳概論③	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法①気血水				
第4回	4	薬膳概論④	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法②陰陽				
第5回	5	薬膳概論⑤	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法③五臓				
第6回	6	薬膳概論⑥	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法③五臓				
第7回	7	薬膳概論⑦	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法④舌で体質をみる方法。舌の状態、気血水、陰陽、五臓から自分の体質を見て、食事と生活の振り返り、今後取り組む事等を考え、プレゼンテーションします。				
第8回	8	体質別薬膳①(ニキビについて)	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます				
第9回	9	体質別薬膳②(不安・心配性について)	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます				
第10回	10	体質別薬膳③(月経痛について)	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます				
第11回	11	体質別薬膳④(むくみについて)	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます				
第12回	12	体質別薬膳⑤(やる気アップについて)	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます				
第13回	13	試験対策	試験対策を行います				
第14回	14	最終試験	最終試験を行います				
第15回	15	薬膳総論	今までの食事や生活の振り返りを行い、継続する事や改善点を考えます。 そして自分の体調や体質に合わせたレシピを組み立て、プレゼンテーションを行います。				
初回持ち物		なし					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		フェイシャル実技理論&カウンセリング			クラス名	P2A	
1年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位		前期	15 時間	後期	-	2年合計単位	15 時間
担当講師		菊谷 未歩					
		実務経験	有	エステティシャン、インストラクターの経験をもとに検定試験合格に必要な、機器やカウンセリングのスキル、接客接客マナーの指導を行う			
目的及び概要		AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした知識習得の授業です。 技術の検定で必要なカウンセリング、アドバイス、禁忌事項、お肌やお悩みに合わせた化粧品や機器選定などについて学びます。					
到達目標		AEA上級認定エステティシャン資格取得 フェイシャルの施術を行う上で必要な知識の習得(理論・禁忌や確認事項・機器)とカウンセリング力の向上					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		フェイシャル実技理論・化粧品学/皮膚科学/解剖生理学/栄養学					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	シラバス説明、試験について		シラバスの説明/上級スケジュール・内容確認・コンサルの書き方			
第2回	2	肌タイプについて		肌タイプについて復習・肌チェックの仕方について・コンサル記入			
第3回	3	お悩みの復習		トリートメント一覧表の説明・ニキビについて復習			
第4回	4			ニキビ痕・シミ・くすみについて復習			
第5回	5			しわ・たるみ・乾燥について復習			
第6回	6	口頭試問		口頭試問について			
第7回	7	ホームケアアドバイス		ホームケアアドバイスについて			
第8回	8	口頭試問練習用紙作成		口頭試問用紙作成・完成			
第9回	9						
第10回	10						
第11回	11	コンサル・口頭試問練習		コンサル記入・口頭試問練習			
第12回	12						
第13回	13						
第14回	14	期末テスト		期末テスト			
第15回	15	期末テスト返却		期末テスト返却			
初回持ち物		筆記用具、実技ファイル、フェイシャル実技理論教科書					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ボディ実技理論&カウンセリング			クラス名	P2A	
1年単位		前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位		前期	15 時間	後期	-	2年合計単位	15 時間
担当講師		石毛 彩花					
		実務経験	有	エステティシャン、インストラクターの経験をもとに検定試験合格に必要な、機器やカウンセリングのスキル、接客接客マナーの指導を行う			
目的及び概要		AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした知識習得の授業です。 技術の検定で必要なカウンセリング、アドバイス、禁忌事項、お肌やお悩みに合わせた化粧品や機器選定などについて学びます。					
到達目標		AEA上級認定エステティシャン資格取得 ボディの施術を行う上で必要な知識の習得(理論・禁忌や確認事項・機器)とカウンセリング力の向上					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		ボディ実技理論・運動生理学/膚科学/化粧品学/栄養学/解剖生理学					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	1年次復習	上級スケジュール確認/むくみ				
第2回	2		冷えについて・過脂肪				
第3回	3	身体の理解	ボディチェック・筋肉・骨格説明				
第4回	4	1年次復習	体脂肪の働き・肥満・セルライト				
第5回	5	コンサルテーションシート 口頭試問	口頭試問について・コンサルテーションの書き方				
第6回	6		ボディ機器について(低周波)				
第7回	7		ボディ機器について(超音波)				
第8回	8		ボディ機器について(パイプレーション・サクション)				
第9回	9	シート記入	コンサルテーションヒアリング・シート記入 口頭試問シート				
第10回	10						
第11回	11						
第12回	12	AEA問題集	AEA問題集 ボディ実技 解説作り&答え合わせ				
第13回	13						
第14回	14	期末試験	期末試験				
第15回	15	期末試験返却	期末試験返却・解説				
初回持ち物		筆記用具、実技ファイル					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		応用実技理論			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	15 時間	2年合計単位	15 時間
担当講師		エステ担当講師					
		実務経験	有	エステティシャン、インストラクターの経験をもとに検定試験合格に必要な、機器やカウンセリングのスキル、接客接客マナーの指導を行う			
目的及び概要		応用実技の授業にリンクした内容を学んでいきます。 応用実技の目的にそって即戦力として対応できるようにスキルアップを図ります。					
到達目標		・卒業後、即戦力となるよう対応力、技術力を身につける ・「教室は仕事場である」を基に行動していく					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書							
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	シラバス/効果・目的・準備物の理解	メジャーリング、タラソパック、ヒートマット				
第2回	2	効果・目的・準備物の理解	足湯、バンテージ				
第3回	3		フットケア、ゴマージュ				
第4回	4		低周波				
第5回	5		カッピング				
第6回	6		超音波				
第7回	7	マナー	お茶出し・音				
第8回	8	カウンセリング・アドバイス力	カウンセリング(ヒアリング) & 分析①				
第9回	9		カウンセリング(ヒアリング) & 分析②				
第10回	10		アドバイス①				
第11回	11		アドバイス②				
第12回	12	ワックス脱毛	ワックス脱毛(ウォーム・ホット)				
第13回	13		準備・流れ(デモスト)				
第14回	14	期末試験	期末試験				
第15回	15	返却	期末試験返却				
初回持ち物		ボディ実技理論テキスト、実技ファイル、筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		エステティックボディ実技			クラス名	P2A	
1年単位		前期	45 時間	後期	60 時間	1年合計単位	105 時間
2年単位		前期	60 時間	後期	-	2年合計単位	60 時間
担当講師		水野丘子・菊谷未歩・石毛彩花					
		実務経験	有	検定試験監督者が講師のため、検定で重要となる部分を伝えながら、検定資格取得を目指す。			
目的及び概要		AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習得授業です。 検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の体や悩みに合わせて提供する事が出来るように学んでいきます。					
到達目標		AEA上級認定エステティシャン実技試験合格。体のお悩みの原因やメカニズム、最適なトリートメント内容・食事・生活・運動のアドバイスをお客様一人ひとりに合わせて行います。筋肉・骨格・脂肪の状態・水分の停滞・冷えなども身体に触れ確認を行い習得していきます。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－4	手順を覚える	背面のデモ・手順練習				
第2回	5－8	手順を覚える	表面のデモ・全身手順練習				
第3回	9－12	全身流れの理解	全身手順チェック				
第4回	13－16	身体の理解・手つき強化	ボディチェック・手つきデモ・手つき練習				
第5回	17－20		口頭試問・筋肉確認・手つき指導				
第6回	21－24	AEA上級認定エステティシャン試験に向けて	カウンセリング・コンサルシート・口頭・ペア発表				
第7回	25－28		ペアに合わせたカウンセリング・コンサルシート・口頭				
第8回	29－32		(エステグランプリの為休講)				
第9回	33－36		ペアに合わせたカウンセリング・コンサルシート・口頭強化				
第10回	37－40						
第11回	41－44	期末・模試・フィードバック	期末試験を兼ねた検定模試・フィードバック				
第12回	45－48	期末・模試・フィードバック	期末試験を兼ねた検定模試・フィードバック				
第13回	49－52	本番	AEA上級認定エステティシャンボディ実技試験				
第14回	53－56	本番	AEA上級認定エステティシャンボディ実技試験				
第15回	57－60	振り返り	振り返り・応用技術				
初回持ち物		上級マッサージのマニュアル、実技ファイル他、ボディの基本持ち物、ホットタオル2本(ビニール袋)					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		エステティックフェイシャル実技			クラス名	P2A	
1年単位		前期	60 時間	後期	120 時間	1年合計単位	180 時間
2年単位		前期	60 時間	後期	-	2年合計単位	60 時間
担当講師		菊谷未歩・石毛彩花・水野丘子					
		実務経験	有	検定試験監督者が講師のため、検定試験合格に必要なとなる部分の指導を行いながら資格取得を目指す			
目的及び概要		AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイスカ、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の体や悩みに合わせて提供することができるように学んでいきます。					
到達目標		AEA上級認定エステティシャンフェイシャル実技試験合格 肌トラブルの原因やメカニズム、最適なトリートメント、スキンケアアドバイス等をお客様に説明できるようになる。また優れたホスピタリティマインドを保有するエステティシャンを目指す。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－4	手順を覚える	新フェイシャルマッサージデモ・相モデル練習				
第2回	5－8	マッサージ強化	フェイシャルマッサージの強化練習(手つき・強弱・密着など)				
第3回	9－12	マッサージチェック	クレンジング→フェイシャルマッサージのチェック【手付き・手順】				
第4回	13－16	コンサル開始	コンサル練習・肌チェック・マッサージ				
第5回	17－20	口頭試問メカニズムの答え方練習	クレンジング→コンサル→マッサージ・口頭試問ニキビ・ニキビ痕				
第6回	21－24		コンサル→マッサージ→パック・口頭試問しみ・くすみ・くま				
第7回	25－28	コンサル作成	クレンジング→コンサル作成→マッサージ				
第8回	29－32	流れ練習	クレンジング→コンサル→マッサージ→パック(口頭試問)				
第9回	33－36						
第10回	37－40						
第11回	41－44	期末＆模擬	期末＆模擬試験、フィードバック①				
第12回	45－48		期末＆模擬試験、フィードバック②				
第13回	49－52	流れ練習	本番流れ練習				
第14回	53－56	上級試験本番	AEA上級認定エステティシャンフェイシャル実技試験				
第15回	57－60	お楽しみ授業	お楽しみ授業				
初回持ち物		ハーフウィッグ、実技ファイル・他、筆記用具等1年次の持参物と同じ、※ホットタオル無、すっぴん					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		サロン運営			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	90 時間	後期	135 時間	2年合計単位	225 時間
担当講師		水野 丘子・石毛 彩花					
		実務経験	有	エステティシヤンの経験を元に、サロン経営をしていく中で必要な知識や技術を復習し、さまざまなお客様に対応できる接客を身に付けるよう指導し、実際にサロンを運営していく。			
目的及び概要		学内サロン運営を目標とした実習授業です。授業内では、企業の店舗と同様にお客様をお迎えし、カウンセリング・必要な技術の提案後、技術提供してからホームケアアドバイスや施術の必要な来店頻度など一連の流れに沿って実践します。定期的に一般のお客様をお呼びし、代金の授受をする学生サロンを開き、実践力を身に付けます。					
到達目標		・チームワーク(積極性)・品格の向上・コミュニケーション能力の向上(カウンセリング力)。 ・自主性・責任感を身に付ける。 ・「教室は仕事場である」を基に行動していく。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－6	オリエンテーション/技術練習	授業説明(指針)/技術練習 足湯+上級マッサージ練習(脚表裏)				
第2回	7－12	カウンセリング/オプション術練習	カウンセリング/ロールプレイング/ ヘッド・かつさ+マッサージ練習				
第3回	13－18	役割決め/オプション練習	役割決め・資料作成／バイブレーション・超音波・マッサージ				
第4回	19－24	本番コース練習 (痩身・リラク・全身・美肌)	資料作成・マニュアル作成／技術・導線練習				
第5回	25－30		資料作成・マニュアル作成／技術・導線練習				
第6回	31－36		資料作成・マニュアル作成／技術・導線練習				
第7回	37－42	リハーサル	Aチーム リハーサル (Bチームモデル)				
第8回	43－48		Bチーム リハーサル (Aチームモデル)				
第9回	49－54	本番に向けて最終調整	リハ反省共有／本番に向けて最終確認／練習				
第10回	55－60	サロン運営本番	サロン運営本番①				
第11回	61－66		サロン運営本番②				
第12回	67－72	振り返り／反省／技術練習	反省会・共有 / 修正・練習				
第13回	73－78	サロン運営本番	サロン運営本番③				
第14回	79－84		サロン運営本番④				
第15回	85－90	振り返り	振り返り/後期に向けての話し合い・目標検証				
初回持ち物		制服はギャルソン シーツ・フェイスタオル4枚・ローブ・ホットタオル2本・床用タオル・実技ファイル 筆記用具・メモ帳・ハンカチ・タイマー・ビニール袋 ※1年後期最後の授業で行った上級の脚マッサージマニュアルを復習しておくこと					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		サロン運営			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	90 時間	後期	135 時間	2年合計単位	225 時間
担当講師		エステ担当講師					
		実務経験	有	エステティシヤンの経験を元に、サロン経営をしていく中で必要な知識や技術を復習し、さらにさまざまなお客様に対応できる接客を身に付けるよう指導し、実際にサロンを運営していく。			
目的及び概要		『サロン運営』は、外部のお客様を自身で集客管理をします。 ①前期の反省を活かし、より良いサロンづくりへ ②集客をし、顧客管理をする(予約管理)、またリピートに繋げる ③お金をいただくこと大切さを知る※ご満足から”感動”していただける技術・接客					
到達目標		・チームワーク(積極性)・品格の向上・コミュニケーション能力の向上(カウンセリング力) ・先読み行動し即戦力を身につける ・「教室は仕事場である」を基に行動していく					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		応用ファイル/配布プリント					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－9	スケジュール確認/実技向上	フェイシャルホットストーン・超音波				
第2回	10－18	技術向上	キッシング・バター				
第3回	19－27		オリジナルコース作成・練習				
第4回	28－36		オリジナルコース作成・練習				
第5回	37－45	サロン運営準備	話し合い・作成物・導線確認・技術練習				
第6回	46－54		話し合い・作成物・導線確認・技術練習				
第7回	55－63		話し合い・作成物・導線確認・技術練習				
第8回	64－72	サロン運営リハーサル	リハーサル①				
第9回	73－81	サロン運営リハーサル	リハーサル②				
第10回	82－90	サロン運営本番	実践①全チーム				
第11回	91－99	サロン運営本番	実践②全チーム				
第12回	100－108	振り返り	反省点・改善点の話し合い・練習				
第13回	109－117	サロン運営本番	実践③全チーム				
第14回	118－126	サロン運営本番	実践④全チーム				
第15回	127－135	まとめ	振り返り・総評				
初回持ち物		制服はワンピース、フルメイク、シーツ、ローブ、茶タオル5枚、ホットタオル2本、スポンジ2枚 スパチュラ、実技ファイル、ハンドタオル、筆記用具、メモ帳、タイマー、鏡、ビニール袋、シラバス					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		エステティック応用実技			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	75 時間	2年合計単位	75時間
担当講師		エステ担当講師					
		実務経験	有	エステティシヤンの経験を元に、サロン経営をしていく中で必要な知識や技術を復習し、さらにさまざまなお客様に対応できる接客を身に付けるよう指導し、実際にサロンを運営していく。			
目的及び概要		応用実技の目的にそって即戦力として対応できる知識を学びます。 主にエステティックで必要な、あらゆるボディオブションや機器・技術の向上を目指します。					
到達目標		・卒業後、即戦力となれるよう対応力、技術力を身につける ・「教室は仕事場である」を基に行動していく					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		応用ファイル/配布プリント					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－5	スケジュール確認・技術	痩身マッサージ、タラソパック、ヒートマット				
第2回	6－10	機器・マッサージ	超音波、低周波、マッサージ				
第3回	11－15	ボディスキンケア	足湯、フットケア、ゴマージュ、パック				
第4回	16－20	オリジナルコース作成 技術習得	サロン運営用のコースを各チームで作成・習得				
第5回	21－25						
第6回	26－30						
第7回	31－35	リハーサル	サロン運営のリハーサル 各チーム交代で1週づつ				
第8回	36－40						
第9回	41－45	サロン運営振り返り	1回目のサロン運営の振り返りと改善				
第10回	46－50	機器	メジャーリング、低周波、超音波				
第11回	51－55	コースプランニング 体感チェック	お客様に合わせたコースを提供する (カウンセリング～コース説明～アフターカウンセリングまで) マッサージの力加減などのチェック				
第12回	56－60						
第13回	61－65						
第14回	66－70	プランニング発表	期末テスト(プランニングしたコースを行う)→フィードバック				
第15回	71－75	頭部ケア	頭部トリートメント				
初回持ち物		制服はワンピース、フルメイク、シーツ、ローブ、茶タオル5枚、 ホットタオル2本、スポンジ2枚 スパチュラ 、実技ファイル、ハンドタオル、筆記用具、メモ帳、タイマー、鏡、ビニール袋、シラバス 初回当番:					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		アウタービューティレッスン			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	30 時間	2年合計単位	30時間
担当講師		根本 夏味					
		実務経験	有	日本メイクアップ技術検定取得 美容部員の経験を活かし、接客方法やメイクの基礎からトレンドメイクなどの幅広いメイク技術を伝えていく。			
目的及び概要		1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。2年時は基本のメイクアップ、ヘアアレンジ技術だけでなく様々なシチュエーションに合わせたテクニックをそれぞれ学ぶことで、エステティックの仕事の幅を広げることを目標としています。					
到達目標		メイク用品の使い方を理解する。 骨格やイメージによるメイクの違いを理解する。 ヘア道具の使い方を理解し、アレンジをできるようにする。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1・2	メイクの復習1	道具の使い方や基本の確認（すっぴん）				
第2回	3・4	メイクの復習2	ポイントメイクの復習（ベースメイクのみして来る）				
第3回	5・6	メイク	トレンドメイク1				
第4回	7・8	メイク	トレンドメイク2				
第5回	9・10	ヘア復習1	道具の使い方や基本の確認（メイクOK）				
第6回	11・12	ヘア復習2	ヘアアレンジ				
第7回	13・14	ヘアアレンジ1	相モデルでアレンジ（メイクOK）				
第8回	15・16	年代別メイク	1920～1960年代のメイク（すっぴん）				
第9回	17・28	ブランド別メイク	ブランドによるメイクの違い（すっぴん）				
第10回	29・20	ヘアアレンジ	相モデルでアレンジ（メイクOK）				
第11回	21・22	老人メイク	シミ、しわの描き方（すっぴん）				
第12回	23・24	期末テスト練習1	イメージメイク（すっぴん）				
第13回	25・26	期末テスト練習2	イメージメイク（すっぴん）				
第14回	27・28	期末テスト	イメージメイク（すっぴん）				
第15回	29・30	FUSに向けて	FUSのヘア＆メイク練習				
初回持ち物		フェイスシールド、白タオル3枚、JMA公式テキスト、メイクブラシ、ダッカード、タオル留めクリップ、スポンジ、パフ、ティッシュ、ウェットティッシュ、ゴミ袋、綿棒 すっぴん					
成績評価方法		・出席率	定期試験		筆記試験		
		・定期試験や小テスト		○	実技試験		
		・授業参加意欲			実施しない(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		資格取得対策パーソナルカラー検定			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	30 時間	2年合計単位	30時間
担当講師		黒川裕子					
		実務経験	有	色彩やパーソナルカラーを教える講師として、各種専門学校やセミナーなどで、楽しく実践的にを大切に数多くの講座を担当している。色彩検定では奨励賞を受賞するなど実績を積んでいる。			
目的及び概要		美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学びます。自分の似合う色を通して、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。パーソナルカラーの探し方から活かし方、パーソナルカラーのもととなる色彩の基本を座学とカラーワーク演習などで身に付けていきます。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施し理解度の確認をしていきます。					
到達目標		色彩の基本、パーソナルカラーの技術を身につけ、美容業界で生かせるようになる。 色彩活用パーソナルカラー検定3級(2024年2月予定)取得を目指す。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1・2	オリエンテーション 色彩の基本①		パーソナルカラーを学ぶ意義 パーソナルカラーとは何か。色の三属性			
第2回	3・4	色彩の基本②		トーン			
第3回	5・6	パーソナルカラーの色分類①		パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について			
第4回	7・8	パーソナルカラーの色分類②		パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について			
第5回	9・10	色名・色素とは		色名、色素について			
第6回	11・12	色素と似合う色の関係①		色素の見方①			
第7回	13・14	色素と似合う色の関係②		色素の見方②・まとめ(自分の色素を知る)			
第8回	15・16	似合う色と似合わない色		似合う色と似合わない色の見え方、色と光の関係			
第9回	17・18	ドレーピング実習		ドレーピング実習			
第10回	19・20	似合う色の見え方の理由		客観的な見え方について(対比・同化、面積効果)			
第11回	21・22	似合う色の取入れ方		似合う色の取入れ方、ポイント			
第12回	23・24	検定対策①		期末テスト、検定に向けて総まとめ①			
第13回	25・26	検定対策②		期末テスト、検定に向けて総まとめ②			
第14回	27・28	期末テスト		期末テスト			
第15回	29・30	期末テスト返却・振り返り		返却・振り返り・検定対策			
初回持ち物		色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級、公式問題集 新配色カード199b、新配色カード199用演習用台紙(通称:トーンマップ)、はさみ、のり、筆記用具、ノート類					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		資格取得対策ライフカラー検定			クラス名	P2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	30 時間	2年合計単位	30時間
担当講師		石井 いつ子					
		実務経験	有	日本カラーコーディネーター協会認定のカラーリストが、実務経験を活かし、色彩の基本的な知識や色を見分ける力を養いながら、自身の色彩センスとイメージに沿った提案力を養う授業を展開していきます。			
目的及び概要		色彩の基礎から実践的な応用方法までを学習します。ブライダル業界で求められるカラーコーディネート技術を、カラーワーク実習を通して身につけ、衣食住(空間)へと活かせる力を養います。また、検定受験に向け、適宜問題集、小テスト(解説あり)を実施します。					
到達目標		美容業界で求められるカラーコーディネート技術を身に付ける衣食住(空間)へと活かせる力を養う					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		ライフケアカラー3級テキスト・問題集					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1・2	オリエンテーション 色のしくみ①	ブライダル業界と色の重要性 色の三属性、色相環、トーン				
第2回	3・4	色のしくみ②	トーンのしくみ・トーンのイメージ				
第3回	5・6	色のしくみ③	色・トーンのイメージを使った実習				
第4回	7・8	配色ルール①	色相配色・カラーワーク実習				
第5回	9・10	配色ルール②	トーン配色・カラーワーク実習/写真から見たカラー分析				
第6回	11・12	配色ルール③	アクセントカラー・セパレーションカラー/カラーワーク実習				
第7回	13・14	ファッションカラー	ファッションにおける色使い/カラーコーディネート				
第8回	15・16	色名・光と色	色の名前(慣用色名・系統色名)/はなぜ見えるのか				
第9回	17・28	フードカラー	食品の色と効果、テーブルコーディネート				
第10回	29・20	色の心理的効果	色の心理と三属性との関係				
第11回	21・22	インテリアカラー①	インテリア調和の考え方、色の心理的効果効果活用例				
第12回	23・24	インテリアカラー②	安心安全のための色使い、カラーワーク実習				
第13回	25・26	期末試験対策	問題集・過去問題				
第14回	27・28	期末試験	期末試験実施				
第15回	29・30	検定試験対策	期末試験返却＆解説 過去問題				
初回持ち物		ライフケアカラー検定3級テキスト、問題集、カラーカード、のり、はさみ、新配色カード199用演習用台紙、筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				